建築社会

| No.1074 | 2011 日本建築協会 9

■特集予告

10月号/災害に強い建築を考える 11月号/コンクリートという素材 12月号/構造教育と社会

編集委員会(平成23年度)

上佐設竹立三吉米 正栄貞統良利英 正栄貞統良利英 ○**

■副委員長 勝山 太郎 ■特集小委員会 ■計画分科会

橋本 宗明 松村 健 向井 洋一

■設備分科会

△赤澤 正治 梶井 宏修

◎委員長 ○副委員長 △幹事

印 刷 2 0 1 1 年 8 月 25 日発行 2 0 1 1 年 9 月 1 日発行人 社団法人日本建築協会 大阪市中央区大手前1-7-31 電 話 06-6946-6981 康州PCコーポレーション定 価 1200円 (税込)

©「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

特集●第58回青年技術者

 \subseteq

11 7	一年30四月平汉州有	
■設言	· 計画部門—	
伊藤	翔●池田泉州銀行夙川支店、キッザニア甲子園	8
神田	泰宏●ジオ彩都のぞみ丘、ジオ彩都Premium Terrace、日亜化学工業K-2棟、ケントク本社ビル	9
駒井	陽次●ウッディタウン市民センター、住吉複合施設、大阪府立大学	10
富田	啓介●製鉄記念広畑病院―地域医療を支える救命救急センターの計画―、十全会榊馬病院―循環器疾患専門病院における基本計画の策定―、篤友会坂本病院―エ	11
中川	コ・ヒューマン・ホスピタル― 卓●神戸学院大学ポートアイランドキャンパス、大阪薬科大学新学舎、ろうきん肥後橋	12
4011	ビル、住友金属工業(株総合技術研究所リニューアル計画(仮称)	12
廣瀬	文昭●南生協病院、名古屋臨床検査センター、河合塾福岡校	13
■構造	部門—	
岡田	純— ●PCa工法の開発・実施とBIMを活用した構造設計手法の構築	14
仁科	誠治●歴史あるデザインを最新の技術で現代に翻訳した超高層オフィスビル、駅施設上 に建つ公共性の高い中間層免震構造のホテル	15
増田	寛之●高い安全性とダイナミックなフォルムを実現する構造システム	16
三井	達雄●耐震性能向上を目指した入力地震動の採用・新技術の適用	17
■設備	部門—	
岩城	憲治●「阪神甲子園球場」スタジアム照明設備の設計手法	18
北村	後裕●ローム京都駅前ビル~「エコリニューアルによる魅力再生建築の実現」、塩野義製薬研究新棟~「先進的環境配慮型研究所の実現」	19
小林	知I広●自然通風時の風量予測手法における問題点と定量的評価、エネルギーバランス式に基づく通風量予測のための流管内エネルギー解析、通風時の気流測定手法の局所的精度及びCFD解析精度の検証	₹ 20
下茂佐	大郎●中高一貫教育施設における技術伝承の取り組み	21
丸尾	竜 ──●中小オフィスビルにおける省エネ制御の追求とECO発信モデルの実現	22
森根	義久●シンブルかつ省エネルギーな電気設備設計	23
会告	大阪ステーションシティ見学会、学生のための現場見学会 「武庫川女子大学食物栄養科学館」、平成23年度建築工 事実務講習会	
作品作風	医療法人 篤友会 坂本病院	4
gallery	House-S & NO.201●高山佳久	6
法令コー		24
構造の質	リニアモータ駆動型制振装置●今関正典	25
3.11 関語 メッセーシ	らの「想定外」の災害への備え●吉村英祐 ・	26
関西の強 群像	築界 E-DESIGN(忽那裕樹・長濱伸貴)●中村祐記	28
再読 関西近代	大阪俱楽部●橋寺知子 建築	29
REPOR	階段の面白ばなし「仏国寺の石造階段」●山田 修	33
informat		

本文デザイン 高橋善丸

36

今月の表紙

月間の動き

0

B

 \Box

 \supset

0

作品:柳澤顕 表紙デザイン:灰田瑞穂 撮影:Tomas Svab 協力:アートコートギャラリー

記念「昭和のすまい展」開催

平成23年7月

なる〈京蒔絵〉―三井家と象彦漆器―」. 西山夘三生誕百周年

MuGuffin #7

2011年/パネルにアクリル絵具/53×46cm

ドットのサイズを変化させることで膨らみのイリュージョンが生じる。これら二枚をずらして重ね合わせることで前後関係の奥行きが生まれる。またモアレ効果が生じる。そして、下部に地面があることでドットは背景として後退する。しかし絵具層は背後として感じられる層ほど重ねられている。これらの異なるレベルでの情報が切り替わることで視覚が活性化することが出来ればと考え制作した。 (柳澤 顕)